

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年九月度 入選句（投稿総数二千三百二十二句・一般投句数七百九句）

特選

生涯を草と鬪ひ生身魂 養老郡養老町 田中 紫香

私は岐阜の出身ではありません。現在、新興の住宅に住んでいます。年に三回位みんなで草刈りをします。停年後は私の仕事です。一回約一時間ですが、大変な重労働です。句の主人公はこれを生業とされています。頭が下ります。それと季語の生身魂が大変すばらしいです。段々消えゆく親、目上の人に対する尊敬の念があふれています。又別の角度で第一次産業（農業・水産業等）の大切さを感じます。日本の食料自給率は三十%足らずです。フランスは九十%以上の国です。たった十七文字の中ですが、色々想像でき、俳句のすばらしさを痛感します。

手相とは違う人生冷奴 東京都世田谷区 関戸 信治

若い頃、私も手相にこった事があります。生命線とか運命線とか色々調べました。今振り返ると、当るも八卦、当らぬも八卦”だと思えます。でも作者はそれを参考にしながら違う人生を歩もうとされている事が大変すばらしいです。又季語の冷奴が良くきいています。

梅雨明し窓際族となりし傘 大垣市 辻 和代

最近常に考えている事ですが、俳句の優劣とは何か？たった十七文字の文字ですから先ず類想の無い句は無いとおもいます。そこで絶えず新しい発見のある句を求めて選句しています。この句はまさにそれにあたいます。傘を窓際族と擬人化したところがすばらしいです。

秀逸

悩むより今日を生きよと蝉鳴けり 大垣市 安田 むつこ

夫の歳越して独りの盆供養 養老郡養老町 田中 秀草

生きる価値死ぬる意義問ふ終戦日 大垣市 北浦 典子

文月や考の筆文字古日記 大垣市 岡田 あや子

秋桜ふはりと浮ぶ熱気球 大垣市 新町 恵子

大花野富士より高きにぎり飯 大垣市 小林 研

縄文の土偶の孤独夏果つる 岐阜市 小湊 順子

三度めはさせぬ許さぬ原爆忌 大垣市 娑婆 だ婆

暮れてなほ大地に余熱夾竹桃 岐阜市 田中 淳子

猛暑日の参拝ねぎらう磨崖仏 神奈川県川崎市 佐藤 廣枝

入選

ジオラマの紅葉あでやかむすびの地
青空に斧ふりやめぬ小蠅螂
新内の美声に酔ふや夏の宵
幸せは今生きること大根蒔く
燈火親しむ一気読みする三國志
虫しぐれ駅に重荷の行商人
馴染ある店は閉店百日紅
厄日過ぎかすかに揺るもやひ舟
夏空やあやとりして送電線
汗をかき水に癒やされむすびの地

養老郡養老町 神田 まさ子
福井県敦賀市 山田 美千代
大垣市 竹中 美穂子
大垣市 村田 通夫
大垣市 中村 有紀
滋賀県大津市 増田 天志
大垣市 佐竹 余史美
愛知県名古屋古屋市 福田 邦子
愛知県尾張旭市 榊原 章子
大阪府高槻市 藤本 和敏

入選

控へ目に昭和一桁秋裕
皮剥けば果汁滴る飛驒の桃
月なくば幾多歌人の虚かな
闇待ちて花の糸解くからすうり
一人居の丸かじりする胡瓜かな
戦没の無名の墓や茄子の馬
十六夜や異国の君に筆をとる
歓声を呑みこむ仕掛花火かな
秋澄むや天守に佇てば美濃尾張
流星やまた考のこと妣のこと

大垣市 中山 あや子
大垣市 山田 千歌子
大垣市 宮上 美濃留
岐阜市 村瀬 慶祐
揖斐郡池田町 木塚 しょう
不破郡垂井町 中嶋 笑子
本巢市 土川 楽人
大垣市 高木 歌佐
愛知県豊田市 城山 憲三
福岡県福岡市 大津 英世

選者吟

老いてなほ少年と追ふ鬼やんま

誠

一